

2017年3月期 第2四半期 決算説明会

2016年11月16日

株式会社SRAホールディングス
代表取締役社長 鹿島 亨



第2四半期決算概要

今後の取り組み

第2四半期決算概要

業績/前年同期比較

- **本業において増収増益**〔売上高、粗利益、営業利益〕
 - ・ **営業利益** (1,781百万円) **営業利益率** (9.4%) : 2Q (累計) で過去最高
 - ・ **粗利益率** : 2Q単独で過去最高 (20.6%)
- **為替差損**の計上 (374百万円) により、**経常利益、四半期純利益は減益**

単位：百万円

	2017年3月期 第2四半期実績	2016年3月期 第2四半期実績	差異 (増減率)
売上高	18,850	18,047	802 (4.4%)
粗利益	3,805	3,312	493 (14.9%)
粗利益率	20.2%	18.4%	1.8%
営業利益	1,781	1,538	242 (15.8%)
営業利益率	9.4%	8.5%	0.9%
経常利益	1,476	1,670	△194 (△11.7%)
経常利益率	7.8%	9.3%	△1.4%
四半期純利益	933	966	△32 (△3.3%)
1株当たり四半期純利益	76.98円	80.18円	—

業績/ 2 Q業績予想 (2016年5月発表) 比較

● **本業〔売上高、営業利益〕 = 業績予想を上回る**

● **経常利益、四半期純利益 = 業績予想を下回る**

要因：為替差損の計上 (374百万円)

単位：百万円

	2017年3月期 第2四半期		
	実績	業績予想 (2016年5月発表)	差異 (増減率)
売上高	18,850	18,320	530 (2.9%)
営業利益	1,781	1,742	39 (2.2%)
経常利益	1,476	1,834	△358 (△19.5%)
四半期純利益	933	1,186	△253 (△21.3%)
1株当たり 四半期純利益	76.98円	97.79円	—

前年同期比

販売事業が大幅に増加

単位：百万円

	2017年3月期 第2四半期実績	2016年3月期 第2四半期実績	差 異
開発事業	9,506	9,590	△83(△0.9%)
運用・構築事業	2,041	1,951	89(4.6%)
販売事業	7,302	6,506	796(12.2%)
合 計	18,850	18,047	802

〔開発事業〕

前年同期比〔横ばい（ $\Delta 0.9\%$ ）〕

- ・一部の製造業が増加
- ・銀行、証券は減少

〔運用・構築事業〕

前年同期比〔増加（ 4.6% ）〕

- ・企業向けが増加
- ・大学向けは横ばい

売上高/顧客業種別（開発事業、運用・構築事業）

単位：百万円

	開発事業		運用・構築事業	
	2017年3月期 第2四半期実績	2016年3月期 第2四半期実績	2017年3月期 第2四半期実績	2016年3月期 第2四半期実績
製造業	3,732	3,090	209	124
通 信	263	232	343	332
電力・ガス	463	516	1	1
銀行・証券	2,520	3,078	471	482
生損保	205	205	131	104
流 通	521	463	0	7
大学等	296	374	408	413
その他	1,503	1,628	473	485
合 計	9,506	9,590	2,041	1,951

〔販売事業〕

前年同期比〔増加（12.2%）〕

- ・ AIT：機器販売が大幅に増加
- ・ SRA：自社IP製品を中心に増加

自社IP製品ビジネスの拡大により増加
(粗利益率も大きく向上)

AIT 販売事業 売上高

単位：百万円

2017年3月期 第2四半期実績	2016年3月期 第2四半期実績	差 異
5,469	4,836	633 (13.1%)

SRA 販売事業 売上高

単位：百万円

2017年3月期 第2四半期実績	2016年3月期 第2四半期実績	差 異
980	804	175 (21.8%)

前年同期比

本業では増益

粗利益	14.9%増	粗利益率：2 Q単独では過去最高（20.6%）
営業利益	15.8%増	営業利益：過去最高（1,781百万円） 営業利益率：過去最高（9.4%）

〔増益要因〕

- ・粗利益率の向上
「Qt」を中心とした販売事業の粗利益率が大きく向上
- ・増収による粗利益の増加
- ・収益向上策の徹底

経常利益	11.7%減
四半期純利益	3.3%減

〔減益要因〕

- ・為替差損（374百万円）の計上

参考：グループ会社実績

単位：百万円

		2015年3月期		2016年3月期		2017年3月期
		第2四半期	通期	第2四半期	通期	第2四半期
SRA	売上高	7,967	16,833	8,560	18,541	9,053
	経常利益	1,131	2,656	950	2,298	711
AIT	売上高	5,561	12,581	5,792	12,643	6,202
	経常利益	383	841	442	930	462
ソフトウェア・サイエンス	売上高	932	2,130	1,159	2,429	1,193
	経常利益	45	224	108	265	137
SRA西日本	売上高	420	1,099	510	1,218	481
	経常利益	7	109	55	155	42
SRA東北	売上高	442	1,161	511	1,189	535
	経常利益	19	96	0	91	62
SRAアメリカ SRAヨーロッパ	売上高	832	1,848	828	1,778	704
	経常利益	18	148	40	95	73
SRA OSS	売上高	661	1,451	888	1,784	905
	経常利益	35	113	127	58	△1
その他の子会社	売上高	763	1,525	634	1,228	542
	経常利益	2	△5	△16	9	30
子会社合計 (SRAを除く)	売上高	9,613	21,798	10,325	22,274	10,565
	経常利益	511	1,528	758	1,604	807

太字：前年同期比で増

株主を中心とする ステークホルダーの期待に応える

1株当たり 配当金

- ・ 2015年3月期：55円・・・15円増配
中間配当金：17円＋期末配当金：38円
- ・ 2016年3月期：70円・・・15円増配
中間配当金：25円＋期末配当金：45円
- ・ **2017年3月期：85円（計画）・・・15円増配**
配当性向 38.6%（計画）
中間配当金（確定）：**30円**＋期末配当金：55円（計画）

今後も株主還元さらなる充実を目指す

今後の取り組み

キュート

• 「Qt」とは

- 組込み機器、PC、モバイルアプリケーションを効率良く構築できるGUIアプリケーションフレームワーク
- 世界60ヶ国／5,500社を超える採用実績
- SRAが得意とする「組込み分野」での注目度が高く、高度なユーザインターフェイスにより、カーナビ、工作機械、OA機器等で広く活用

• 「Qt」におけるSRAの優位性

- 他社の追随を許さぬ高い技術力と豊富なノウハウ
- ライセンス販売、コンサルティング、トレーニング、開発、サポートを**トータルで提供**

⇒ 収益性の高いビジネスを展開

◎ SRA販売事業の粗利益率が大きく向上

⇒ 新しいビジネスを展開

◎ IoTインフラ構築分野：レッドハットと協業

◎ IoT／車載ビジネス：SCSK社と協業

2016年5月10日 プレスリリース

(株)SRAがSCSK(株)と車載システム事業推進にかかる戦略的な業務提携 ～車載分野IT企業連合へのSRA参画により、AUTOSAR関連事業を加速～

IoT への取り組みのフォーカス分野：車載システム事業

車載システム事業において**ニーズの高い (=SRAの強み)**

- ①ユーザビリティ向上：組込み機器の操作性向上
「Qt」の高度なユーザインターフェイスを活用
- ②インターネットコネクティビティ統合管理
- ③セキュリティ対策：インターネットを介したクラウドとの
安全な通信のためのセキュリティ知見

に、SRAの高い技術力・豊富なノウハウを活かす

2016年7月28日 プレスリリース

(株)SRAがHackett Enterprises Limitedと業務・資本提携

〔Hackett Enterprises Limited〕

本社：香港に本社を置く、持ち株会社

香港の金融機関、中国大手国有金融機関と資本・業務等のパートナーシップ関係

傘下のグループ企業

- ・ 香港：融資、証券、保険、投資顧問等の事業を展開
- ・ 中国／重慶市：中小企業経営者向けおよび個人向け小口貸付、不動産・自動車等の担保付貸付等の事業を展開

〔今後の展開〕

SRA：金融の業務知識・ノウハウ〔強み〕を活かし、Hackettの事業推進を支援

モバイルインターフェイスを含むシステムの実現等

Hackett：SRAが香港・中国・台湾に拡販する際には支援

Hackettの金融機関や重慶市との良好な関係に基づく
ビジネスリソースをSRAに提供・紹介

※プレスリリース <http://www.sra-hd.co.jp/Portals/0/ir/others/20160728.pdf>

粗利益の確保／粗利益率の向上〔2Q実績：20.2%〕

- ・ 案件を創出→確実に受注
- ・ 徹底したリスク管理
納期厳守・高品質・生産効率向上
- ・ オフショア開発の優先活用

販管費の効率化／販管費率の改善

- ・ アカウントマネージャー制の導入による営業効率の向上
- ・ (株)SRAプロフェッショナルサービス（シェアードサービスを担当）と
本社スタッフ部門の運営コストの削減

今後も施策の徹底により収益性向上を図る

2017年3月期 計画

単位：百万円

	2017年3月期 計画
売上高	40,000
粗利益	7,840
粗利益率	19.6%
販売管理費	3,900
販管費率	9.8%
営業利益	3,940
営業利益率	9.9%
経常利益	4,125
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,667
1株当たり当期純利益	219.86円
1株当たり配当金	85円

※2017年3月期計画：販売管理費には「投資」を含む

ビジネスモデルの 変革



SRAグループの 進化

<将来見通し等に関する注意事項>

本資料につきましては、投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

また、本資料における将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提としており、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。